

事業内容説明写真

(イ) 就職マッチングによる帰還準備支援



就職希望者の相談に応じるイラン人スタッフ(左)。求人情報の紹介や、応募書類の作成、面接準備等、就職準備全般について幅広くサポートする。(2011年10月)



センターではアフガニスタン国内の求人情報を掲示している。利用者に求人情報の見方を説明するインターン(右)。(2011年12月)

(ロ) 難民・貧困層支援プラットフォームの強化



UNHCR マシャッド事務所のスタッフによるセミナーの様子。難民向け健康保険を初め、UNHCR が提供する様々なサービスについて詳しい説明があった。(2011年10月)



アフガン人障がい者支援団体が主催した「国際障がい者デー」記念イベントの様子。ブースを出展し、来場者にセンターの活動を紹介するインターン3名。(2011年11月)



「女性に対する暴力撤廃の国際デー」に因んで UNHCR マシャッド事務所と共催した DV(ドメスティック・バイオレンス)防止啓発セミナーの様子。(2011年11月)



マシャッド市内の慈善団体を訪問し、新規コースの告知を行う日本人スタッフ(右)。各団体との連携促進を図り、地域における支援活動の活性化に取り組む。(2012年1月)

(ハ) 就職・帰還が可能な優秀な人材の育成

① ビジネススキル研修コース



英語コース(中級)の様子。求人市場での需要は高く、英語を学ぶことで帰還後の社会で活躍する機会が大きく広がる。(2011年11月)



会計コース(初級)の様子。会計情報の知識と活用方法を、体系的に幅広く学習する他、アフガニスタンで一般的に使用されている会計ソフトの使用法も学ぶ。(2012年1月)



グラフィックデザインコースのフィールドトリップの様子。印刷会社を訪問し、商業印刷のプロセスについて、現場のプロから直接説明を受けた。(2011年11月)



IT・ネットワークコースの様子。企業でIT・ネットワーク関連職に就くための実用的な知識を短期間で身に付ける。(2011年12月)



マーケティングコースのフィールドトリップの様子。マシヤッド市内のホテルを訪問し、サービス分野で必要とされる「顧客対応力」について学ぶ生徒たち。(2011年9月)



ビジネスライティング・コースの様子。業務上のメールや報告書、レポート、議事録など、用途や状況に応じたビジネス文書作成のノウハウを学ぶ。(2012年1月)

② 就職や帰還に関するセミナー



NICCO 職業訓練校の卒業生によるセミナーの様子。北部の主要都市マザリシャリフの生活環境や雇用状況について、自身の帰還体験も交えて講義が行われた。(2011年12月)



カブールの政府機関に勤務する元難民を講師に迎え開催したセミナーの様子。カブールの雇用状況や、イランとアフガニスタンの教育制度の違いについて詳しい説明があった。(2011年12月)



就職準備セミナーの様子。英語での履歴書・カバーレターの書き方や、面接時のマナー等、就職活動に際して必要な様々なノウハウが紹介された。(2011年11月)



ITセミナーの様子。IT関連職における仕事内容や求められる人材像、資格取得のポイントなどについて講義が行われた。(2011年12月)

③ センター及び企業等でのインターン研修



センターの受付で利用者の対応を行うインターン(手前2名)。PC を利用しての庶務や顧客情報の取り扱い等、カウンターでの実務を通じて受付業務を学ぶ。(2011年10月)



データベースの利用法についてイラン人スタッフ(右2人目)から指導を受けるインターンたち。(2011年12月)



ニュースレターの編集ミーティングの様子。イラン人スタッフ(左)を中心に担当コンテンツの割り振りや、デザインの方向性について話し合う。(2011年10月)



センターのホームページ更新について打合せ中のインターン(右)と日本人スタッフ(左)。有用な情報を幅広く配信するためのアイデアを出し合う。(2012年1月)

④ PC スペースを利用した、PC 基礎の自習プログラム



PC 基礎の学習に取り組む難民の女性たち。タイピングや Microsoft Office を中心とした基礎的なコンピューター技能を習得する。(2011年10月)



利用者の質問に答えるイラン人スタッフ(左)。各チャプターの終了時には、個別に習得状況の確認が行われる。(2011年11月)

⑤ 就職・帰還に関するカウンセリングサービス

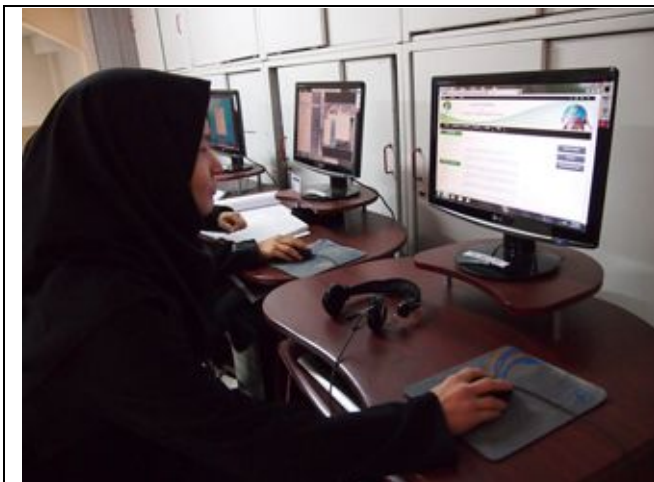


グループカウンセリングの様子。グループ間での意見交換や個人が抱える課題の共有を通じて自分への理解を深める。(2011年9月)



一人一人の状況やニーズに合わせて、求人・教育に関する情報の提供や、研修プログラムの提案等、幅広いアドバイスを送る。(2011年10月)

(二) 情報発信拠点としての機能拡充



センターのホームページで就職準備の関連情報を閲覧する難民の女性。(2011年10月)



センターで発行しているニュースレターを読む難民の男性。写真の号は帰還に焦点を当て、帰還に関連する様々な情報を分かりやすく掲載している。(2011年12月)